

花の白虎隊 (1954)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1954/08/25

【解説】

「山椒大夫」の八尋不二によるオリジナル脚本を「関の弥太ッペ」の田坂勝彦が監督した歴史劇。時代の波に翻弄され、悲壮な決意で戦地へ赴き散っていった白虎隊の悲劇を描く。歌舞伎の市川雷蔵と長唄の勝新太郎がスクリーンデビューを果たした。

明治元年、薩長を中心とする連合軍が会津国境へ押し寄せてきていた。会津藩の篠原準之助は池上仙吉の妹である百合と婚約していたが、兄の戦死に突き動かされ白虎隊への参加を決意する。進撃を続ける連合軍が領内に入り込んだことから、十五歳以上の男性に出陣命令が下った。銃弾が飛び交う中、百合との仮祝言を済ませた準之助は仙吉とともに戦地へ赴き、城の無事を告げる鐘を鳴らし続けるのだが…。

【クレジット】

監督 田坂勝彦

脚本 八尋不二

撮影 牧田行正

出演 市川雷蔵

勝新太郎

花柳武治

三田隆

黒川弥太郎

阿井三千子